

インディードゥアイガン ยินดีดอวไกกัน

...so that may be glad together. (John 3:46)

YD は、タイ語で「ともに喜びのため」を意味する単語の頭文字です

タイ王国チェンマイ日本語キリスト教会を通してのタイ宣教

YD ミニストリー ニュースレター# 3

2017年 秋冬号



弱い人々には、弱い者になりました。弱い人々を獲得するためです。すべての人に、すべてのものとなりました。それは、何とかして、幾人かでも救うためです。私はすべてのことを、福音のためにしています。それは、私も福音の恵みをともに受ける者となるためなのです。I コリント 9:22,23

主にある宣教の同労者となってくださった皆さんの祈りとご支援により、ついに、タイ国民から深く愛されたプミポン前国王逝去から1年を迎えるタイの地に、宣教師としての一步を踏み入れました。とは言っても、初年度は、ビザの身分通り、一タイ語学生です。英語の通じないゲストハウスの小さな一室で、どうしても流れないトイレと格闘しながらの日々ですが、同じ道を通ってこられたチェンマイの教会の皆さんと、タイ語を話せない外国人に付き合ってくださいタイの皆さんに助けをいただきながら、元気に過ごしています。

日本でも話題になっていますが、チェンマイで過ごす日本人が直面している課題は、高齢化、介護、貧困、家庭崩壊といった、日本の課題とも重なるものです。教会は、チェンマイの地でも、現実を生きる方々とともに歩んでいます。主が、私たちとともに歩まれたように。



17年お仕えした新潟からの出発

深夜の温かな歓迎



この地に住む日本人ならではの課題は、やはり、その方がどのような目的でタイの地に住んでおられるか、ということに尽きるように思います。買春など、主のみこころを痛める目的でチェンマイに滞在する日本人も少なくありません。先日参加させていただいた刑務所伝道で

も、そのことを痛感したことでした。タイは、親日国ではありますが、タイの方々には、日本人がタイの地で何をして

いるのかも知っておられます。教会は、この地で、どのように福音を生きていったらよいのか…。

一歩一歩、タイとこの地に住む方々と知り合いながら、教会を通して、ともに生きることを学ばせていただきたいと思います。



この地で、この教会とともに歩みます

<祈禱課題>

- ・主任牧師夫妻が、日本での治療のため帰国され、不慣れな中で教会をお預かりします。野尻ご夫妻に快復が与えられますように。教会が守られますように
- ・長い喪の期間を経て国王が変わり、タイの社会も変化していくことが予測されます。ビザを継続して取得できますように
- ・今後も継続して祈りご支援くださる方が増し加えられ、チェンマイでの教会と宣教を継続することができますように

<支援窓口>

YD ミニストリー支援会 郵便振替 00870-6-154230
支援会お問合せ先 shimoyamada@mishimagrace.com
電話 Fax 055-989-7802
ホームページ <http://www.yd-ministry.christian.jp/>

(「YD ミニストリー」で ご検索いただいても ご覧いただけます)
日本同盟基督教団事務所 郵便振替 00120-5-142886
(事務所宛は、長谷部愛実への指定献金のみ、ミニストリーに献げられます)

出発までに、限られた期間、地域ではありましたが、64 か所で派遣報告をさせていただき、74 組からの個人献金と、67 の教会、諸団体から、約 520 万円の献金をお預かりいたしました。初年度の予算を大きく上回る篤いご支援に、心から感謝いたします。

実際に動き出してみますと、デプテーションにも、ビザ取得にも、自動車購入にも、予算以上の必要があることがわかりました。

特に語学学校ですが、13年労してこられた主任牧師夫妻の思いがけない闘病で、急遽教会をお預かりすることとなったため、割高の週2日の個人レッスンで学ぶこととなりました。教会の必要をあらかじめ知ってくださっていた主が、今年度のご奉仕に必要なものを、皆さまを通して満たしてくださっておられたのだ、と感謝しております。

献金の内 76 万円は饞別や、個人的なことにお使いください、と献げていただいたもので、車両指定とさせていただきました。

タイは、日本よりも物価が安いのですが、車は、税金や保険が日本よりも高いため、自動車購入には、1.5倍から2倍の料金がかかります。

中古車も、ほとんど安くならない上に、中身がメーカー以外のものにすり替えてあったり、走行距離が改ざんされていたり…と、状態の良いものを購入することがなかなか難しい状況にあります。

チェンマイ市内には電車がなく、バスもほとんど走っていませんから、バイクや車がなければ、無許可営業の白タクか、ソントオという乗り合いタクシーを利用する以外に移動手段がありません。

ソントオは、交渉性ですから、お金をかけてチャーターしない限りは、目的地が運転手の意に添わなければ乗せてもらうことができず、同乗者の乗り降りや回り道のために時間も読めず、訪問などのたびに、かなりの時間やお金や体力をかけなければならないこととなります。

現在、住まい近くのスーパーが休業中のため、横断歩道は描いてあっても、歩行者用の信号のない12車線のスーパー・ハイウェイを走って渡って日用品を買いにでかけていますが、排気ガスや土ぼこりが乾燥した空气中に充満しているため、事故や事件に巻き込まれないための安全面と健康面を考慮すると、長期の奉仕のためには、やはり、車が必要になってきます。

ふさわしい時に、ふさわしい車が与えられ、ルールがあってもないようなこの地で、安全に運転することができるようにお祈りいただけましたら感謝です。



現在の足、ソントオ

値段を吹っ掛けられたり、降りる段になってごねられたり、かと思えば、とても明るい運転手さんに励まされたり、一喜一憂の日々です。